

平成30年5月大雨災害に伴う秋田市災害ボランティアセンター活動実績

平成30年8月22日
秋田市社会福祉協議会

【被害状況】

	区分	住家被害（棟）	内訳
平成30年5月18日からの 大雨による被害	床上 浸水	146	下新城、金足、大住、広面 ほか
	床下 浸水	232	大住、下新城、牛島、金足 ほか

平成30年6月15日 16時00分現在 秋田県総合防災課 発表

【これまでの動き】

5月18日

下新城地域を皮切りに市内の広範囲に順次避難勧告が発令

5月19日

避難勧告地域に居住する職員への状況確認
ホームページで市内のボランティアの募集を開始

5月20日

行政から被害地域の情報提供あり
職員による被災地域のニーズ調査を開始

5月21日

行政と協議し、**災害ボランティアセンターを設置**
ボランティア募集を市内から県内に拡大
ボランティア活動を開始

5月22日

各地区社協および各地区民児協あてに地区内の見守り活動の強化およびニーズ把握について協力を依頼
ボランティア保険の特例が適用
県社協から人員派遣（～6月10日）

5月26日

災害支援活動に専門支援団体として一般社団法人オープンジャパン（石巻市）が加入（～6月18日）

5月27日

ボランティア募集を拡大（県内の枠を除外）

5月28日

被災世帯へ粗品（洗剤、ティッシュ、軍手、ゴミ袋など）を持参し個別訪問（ニーズ調査）を実施。（約360世帯）

5月29日	県内市町村社協から応援職員派遣（～6月3日）
6月4日	ボランティア募集を縮小（県内に限る）
6月10日	「災害ボランティアセンター」から通常の「ボランティアセンター」 で対応する体制に移行 県内ボランティアの事前登録制に変更
6月22日	ボランティア活動 終了

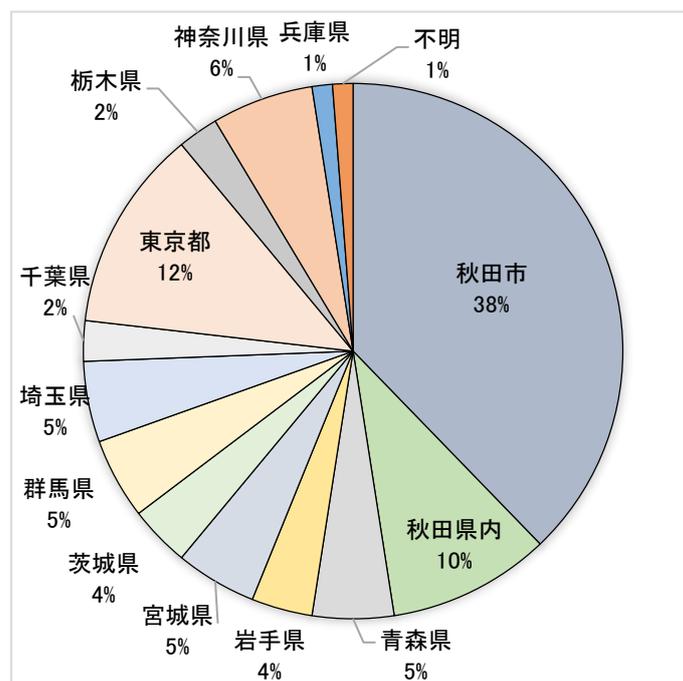
【活動期間】

平成30年5月19日～平成30年6月22日

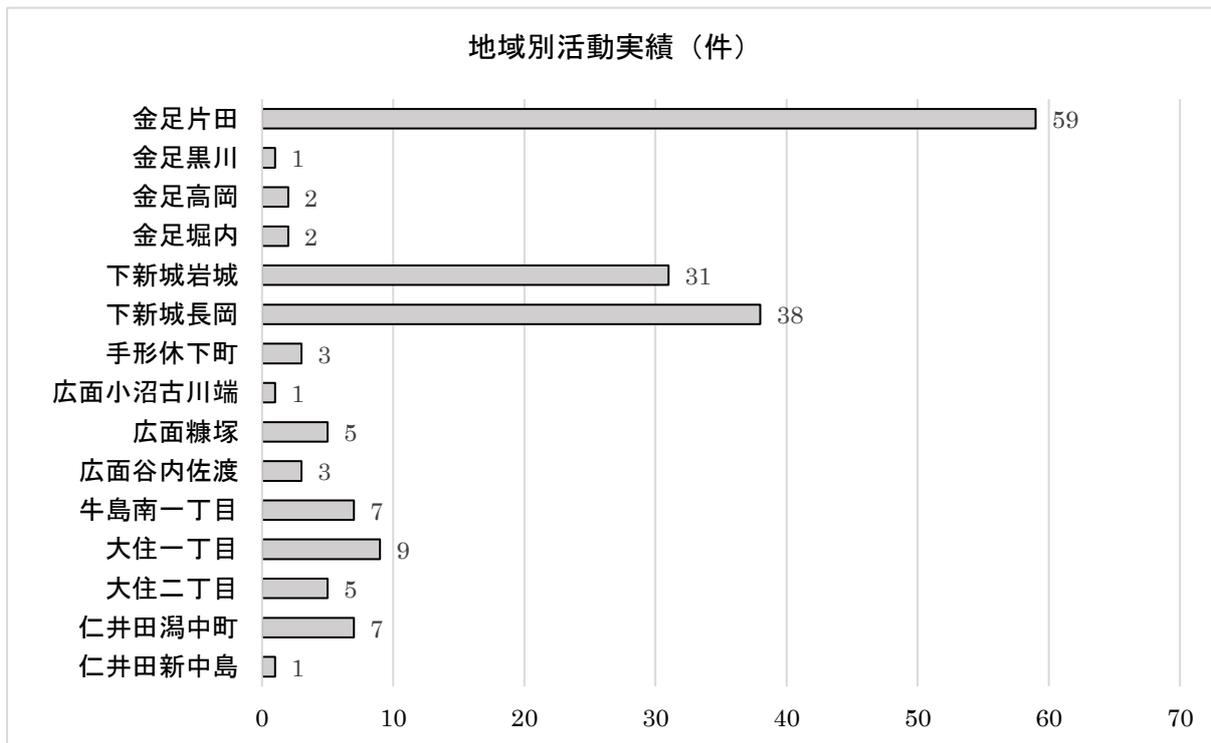
【活動実績】

依頼件数（延）	115件	（実）89件
活動件数（延）	174件	
活動人数（延）	644人	
ボランティア	327人	男性 250人 女性 77人
関連団体等	243人	専門支援団体、福祉施設
職員	74人	応援社協・県社協を含む

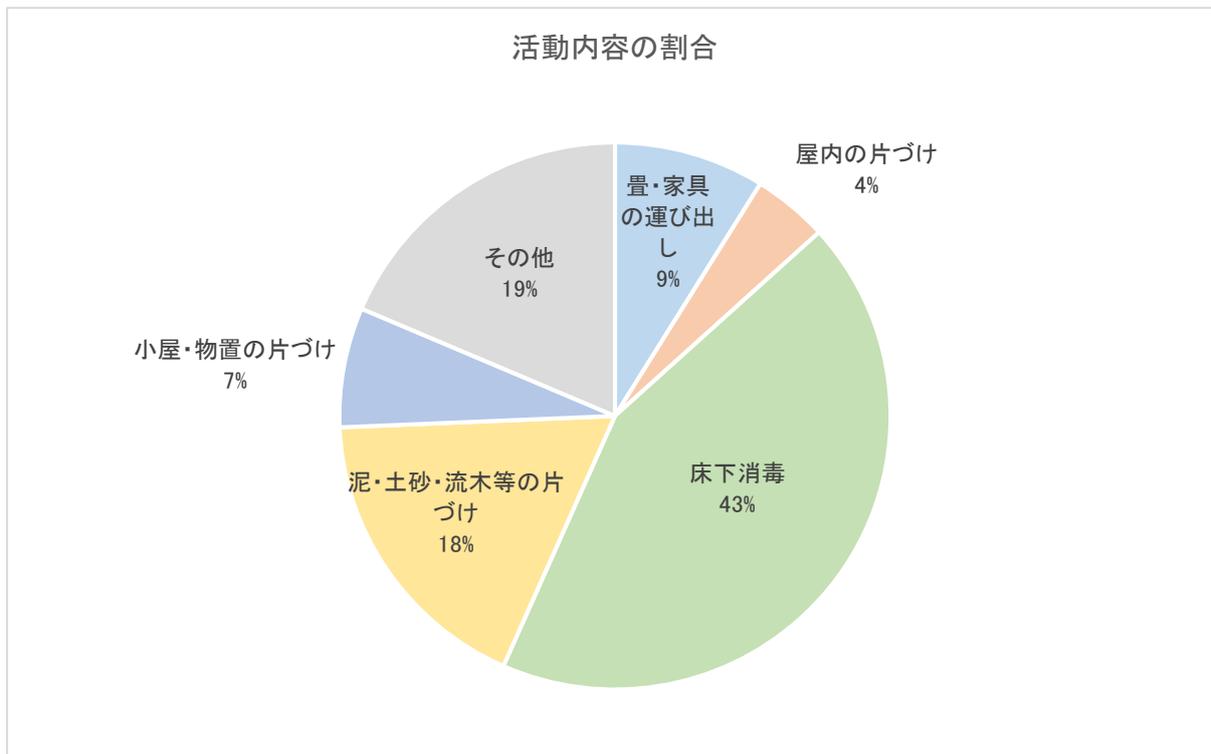
【都道府県別に見た個人ボランティアの割合】



【地域別活動実績】



【活動内容の実績】



※「その他」の内容 ～ 物資の配布、現地調査したが作業の必要なしなど。

【参加団体】 18 団体

秋田県曹洞宗青年会ボランティア委員会、真如苑 SeRv、秋田市建設業協会、秋田ノーザンブレッツ、なまはげこまち、秋田県赤十字血液センター、赤十字防災ボランティアステーション、国際石油開発帝石（株）、金寿園、藤岡災害ボランティアサークル、チーム藤田、西東京臨済会災害支援部、チーム絆、災害ボランティア「集結」、チームふじさん、ボランティアチーム援人、災害ボランティア風組関東、オープンジャパン

【寄付金品】

名 称	数量・金額	寄付者
土のう袋	2 箱	被災地へ土のう袋を送るプロジェクト
スポンジ、ブラシ	10 個	村田真理子（個人V）
飲料（500ml×24 本）	4 箱	大仙市社会福祉協議会
お茶（500ml×24 本）	1 箱	山田昇
飴など	5 袋	岩沼市社会福祉協議会
タブレット（塩分チャージ）	4 箱	横手市社会福祉協議会
防護服セット	13 組	土居章敏（個人）
現金	10,338 円	秋田県大衆音楽協会
現金	10,000 円	(株)スターダストプロモーション

【資機材の提供】（無償貸与）

名 称	数量	提供者
角スコップ	30 本	秋田県社会福祉協議会
スコップ・土のうスタンド他	多数	にいがた災害ボランティアネットワーク
ホワイトボード	1 台	コクヨ
送風機	1 台	原淳一（個人）

【その他】

- 災害ボランティアセンターの設置運営に伴う経費約 179 万円のうち、共同募金会より「活動拠点事務所支援資金」として約 128 万円の支援
- 県内市町村社協から応援職員の派遣
鹿角市（沢田）、小坂町（對馬）、大館市（小野）、北秋田市（野崎、若松、成田）、能代市（鈴

木、尾張)、三種町(佐藤、桧森、小野)、八峰町(奈良、田村、柴田)、男鹿市(目黒、小松、三浦)、潟上市(鎌田、伊藤、西村)、八郎潟町(畠山、小林)、由利本荘市(庄司)、にかほ市(斎藤尚、池田、斎藤正)大仙市(斎藤、五十嵐、小山田、藤田、佐藤、深谷、大信田、高橋、実習生2人)、仙北市(小林、佐藤、武蔵、藤原、小松、門脇)、美郷町(高橋、渋谷、木村、高橋和、齊藤、太田、村田、高橋真、播磨、高山)、横手市(高橋、佐藤)、湯沢市(金)